

トムス ハイパーブレーキキット フロント

このたびは、トムスハイパーブレーキキットフロント（以下ブレーキキットフロント）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取付けを以下に記します。正しい取付けをお願いいたします。本取付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。

【適応車種】 本製品は以下の車種に対応しています。（2008年2月現在）

トヨタ エスティマ（GSR50・55W） 2006（H18）年1月～

【取付け上のご注意】 以下のご注意を必ず守るようお願いいたします



1. 本製品装着の際、ブレーキフルードエア抜き作業をする必要がありますが、正しいエア抜き作業をしない場合、制動力が不足し障害や事故につながる場合があります。エア抜き作業は確実に行ってください。
2. 脱着部品の締め付けは、必ず規定トルクで締め付けてください。ボルトのゆるみなどは重大事故の原因となります。
3. 車両をジャッキアップ後は、必ずリジットトラック等にて確実に車両を固定してください。
4. 取付け後走行した後に、ボルトの緩みや、ボディとの干渉をチェックしてください。ボルトのゆるみなどは重大事故の原因となります。
5. 走行前の作業点検時にブレーキパッドの摩耗量を必ずチェックしてください。通常のブレーキシステムに比べ、パッドの摩耗時期が早い場合があります。
6. パッドの温度が冷えている走行開始直後は制動力が不足する場合があります。
7. 本製品を装着した場合、「キーキー」もしくは「グググ」という音が発生したり、ブレーキダストが増加する場合があります。性能向上のためご了承ください。



【構成部品】 本品は以下のパーツで構成されています。欠品等を確認して下さい。

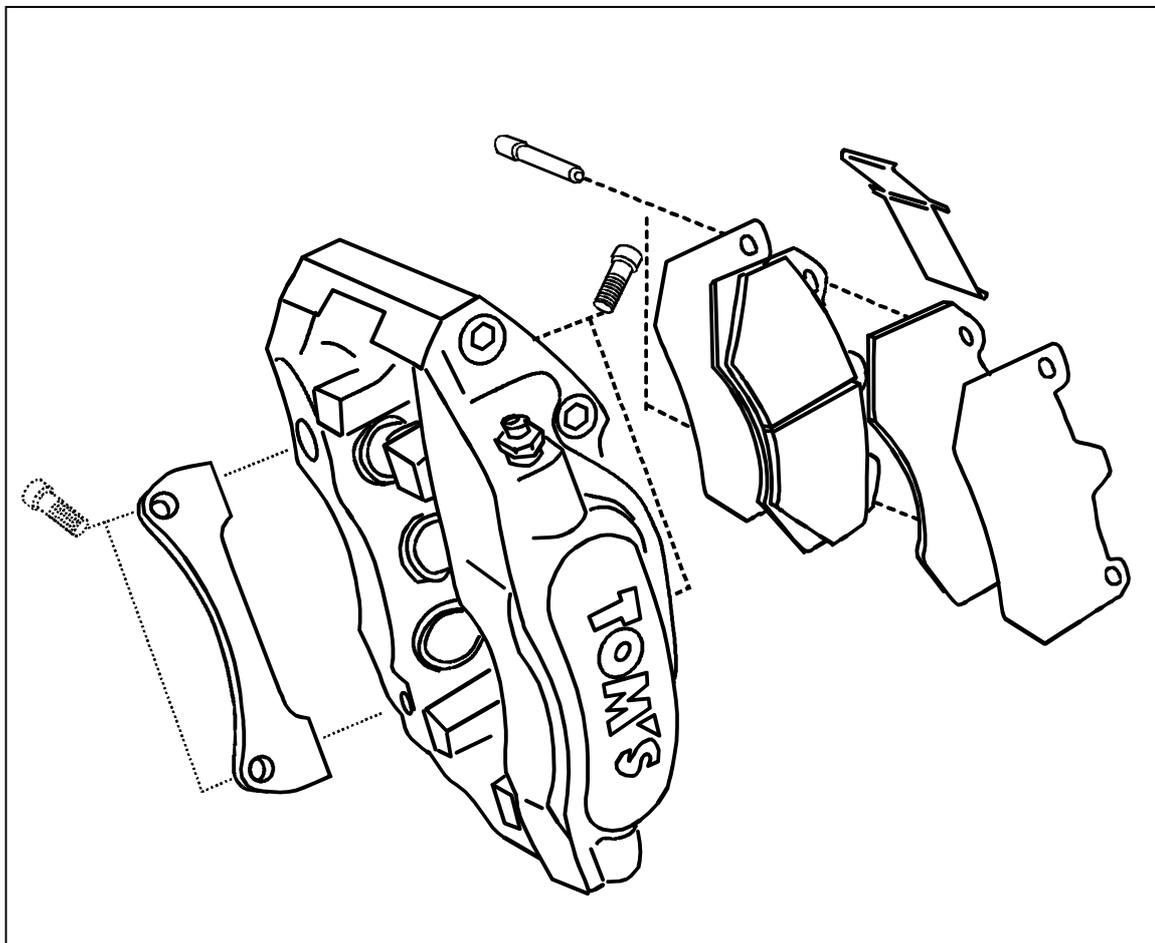
FrキャリパーASSY（R/L）	各1	ブレーキパッドシム	×4
キャリパーブラケット（R/L共通）	×2	アンチラトルピン	×4
M12ボルト	×4	アンチラトルスプリング	×2
ブレーキパッドフロント	×4		

【準備品】 作業前に以下のものを準備してください

フロントブレーキローターRH（トヨタ品番43512-30340）	×1
フロントブレーキローターLH（トヨタ品番43516-30030）	×1
フロントフレキシブルホースガスケット（トヨタ品番47389-50020）	×4
ブレーキグリース	適量
ブレーキフルード	適量

【構成部品図・組み付け図】

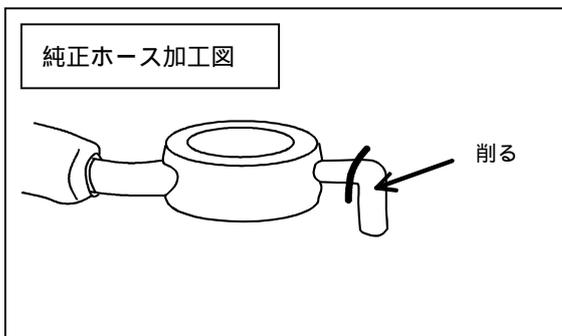
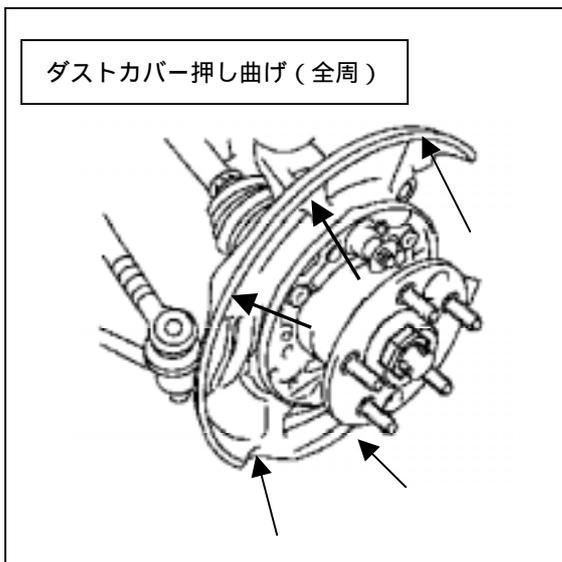
ローター部・純正部品除く。ブレーキホースは純正品再使用



【取り付け方法】

1 純正ブレーキホースおよびフロントキャリパー・ローターはずし

- (1) ブレーキフルード抜き取り
- (2) フレキシブルホースの中間止め部分のボルトをはずし、ホースを取りはずす（再使用する）
- (3) ユニオンボルトおよびガスケットをはずし、フレキシブルホースをディスクブレーキシリンダASSY（キャリパー）から切り離す（ガスケットは再使用しない）
- (4) ボディ側のクリップ、ユニオンをはずし、フレキシブルホースをはずす（再使用する）
- (5) ボルト2本をはずし、フロントキャリパーをはずす
- (6) フロントローターをはずす



【発売元】株式会社 トムス
東京都世田谷区等々力6-13-10
TEL 03-3704-6191

2 トムスブレーキキット取付け（構成部品図・組み付け図を参照のこと）

- (1) キャリパーブラケットを、はずした純正ボルトでアクスルに取付ける
⇒ 締付トルク 107N.m(1091Kgf.cm)
- (2) 準備品 フロントローターのRH/LHを確認し、仮止めする
- (3) ダストカバーをフロントローターと干渉する部分を押し曲げて隙間を調整する（左図参照）
⇒ ローターとダストカバーは全周において5mm以上隙間を確保する
- (4) キャリパーをボルトで仮止めする
⇒ 締付トルク 127N.m(1300Kgf.cm)
- (5) アンチラトルピンでブレーキパッド、パッドシム及びアンチラトルスプリングを取付ける
⇒ パッドとシムの間に準備品 ブレーキグリースを塗布する
⇒ ピンは確実に挿入すること（ピンポンチなどでたたき、確実に入っていることを確認する）ピンがはずれた場合、重大事故につながる場合があるので確実に挿入する
⇒ スプリングは矢印マークをローター前進時回転方向と同じにする
- (6) はずした純正フレキシブルホースの回り止め部分カットする（左図参照）
⇒ 切り粉がフレキシブルホースに入らないように十分注意する
⇒ 防護めがねなどを使用し、安全に十分留意すること
- (7) 準備品 ホースガスケットを使用し、純正フレキシブルホースを取付ける
⇒ 取りはずしと逆手順でおこなう
⇒ フレキシブルホース取付けの詳細は該当車両修理書を参照のこと
- (8) ブレーキエア抜き作業をする
⇒ エア抜き作業の詳細は該当車両修理書を参照のこと